

民間と市の協働による 道路整備

(概要) 民間開発事業者との協働による官民連携の新しい道路整備事業。道路整備の予算や事務の削減、民間開発のスピード感を活かし整備期間の短縮化を実現。

土木部土木政策・管理課 清水裕介

2020. 12. 22

大変だった点

新設道路を整備するためには、地権者との交渉から始まり、用地買収、測量、設計、施工と多大な労力と時間・費用を要している。

整備期間として、
約10年が必要。

(地権者交渉を考えると10年以上となる可能性も...)

整備費用として、
約2億円が必要。(本案件の道路の場合)

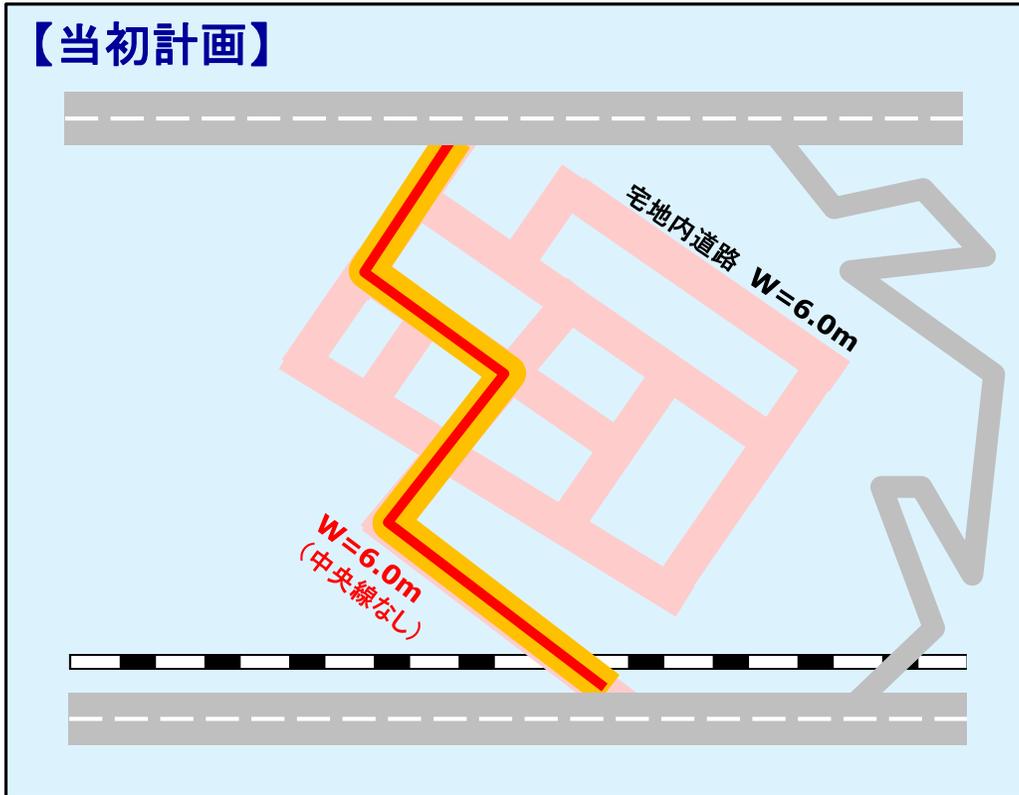
(職員人件費等を考えると2億以上となる可能性も...)

改善のきっかけ

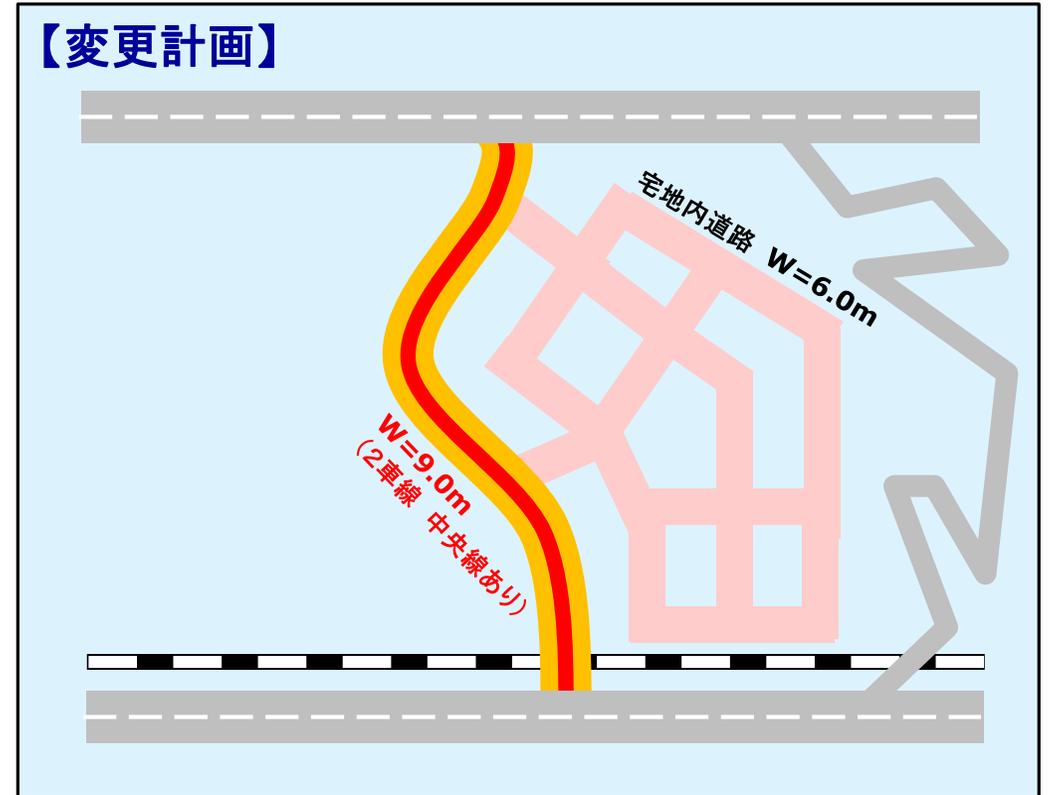
従前より地域課題があった箇所における 宅地開発計画の事業者と 課題解決について協議した。

市と民間事業者がWinWinとなる
手法はないか。

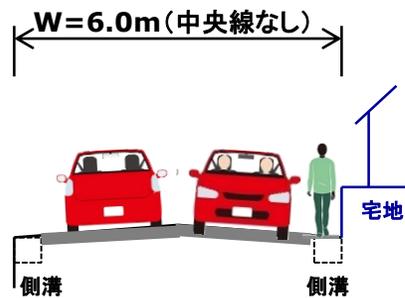
【当初計画】



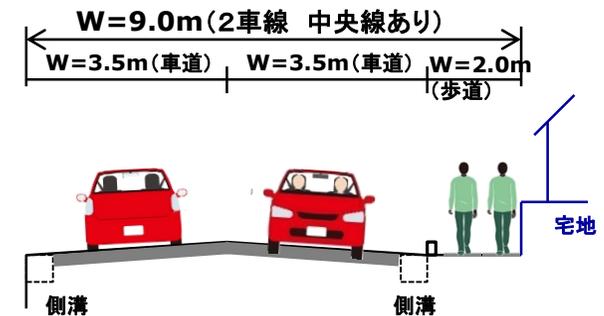
【変更計画】



【通常の開発道路】



【見直した結果の計画道路】



改善したことによる効果①

- 本市の道路ネットワークの形成及び道路整備プログラム候補路線の早期実現が可能。

地域の交通課題の解消へ

- 削減経費

新設道路整備概算費用 約2億円 → 負担金 1億円

約1億円の削減効果

改善したことによる効果②

□削減時間

新設道路整備期間 約10年



民間開発による整備期間 約2年



開発事業者と官民協働とすることで、本案件については、約2年で道路整備が可能（民間開発のスピード感を活かす）

Win Win Win

□ 佐世保市のWin !

期間削減、経費削減、課題解消

□ 事業者のWin !

開発地居住者の安全性向上(歩道設置)
宅地の価値の向上

□ 市民のWin !

人やモノの移動時間短縮
経済活動に寄与

事業効果

2億 → 1億!!

経費 1/2

10年 → 2年!!

スピード
5倍